

10分でわかる

社会・経済のうごき@しんぶん.yomu

知っておきたい日本経済トピックスを新聞から抜粋しました。(公社)長井法人会(TEL88-3960 FAX88-3823)

2012年度貿易赤字額は過去最大に

財務省が発表した2012年貿易統計によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は8兆1699億円に上り、比較可能な1979年度以降で最大になったことが明らかになった。2年連続での赤字となるが、赤字額は前年度比約85%増加となった。輸出が欧州や中国での経済減速から落ち込み、他方、原発停止による天然液化ガス(LNG)や原油の輸入増加となった。

海外投資家の株買い越しが過去最大に

東京証券取引所が発表した株式売買動向によると、4月第2週(8~12日)に海外投資家が日本株を1兆5865億円買い越し、週間では過去最大になったことが明らかになった。前の週に黒田日銀総裁が大胆な金融緩和策を発表したのを受けて、海外マネーが日本株へ大規模に流入したことになる。エコノミストは「安倍政権の経済政策と日銀の金融緩和の相乗効果が期待でき、日本株は有望である」と指摘している。

金利1%上昇で銀行は6.6兆円損失

日銀が公表した「金融システムレポート」によると、国内金利が1%上昇すると、大手や地域銀行などの国内銀行が保有している債券の評価額が6.6兆円減少するとの試算結果が明らかになった。金利上昇が2%(同12.5兆円減少)~3%(同16.6兆円減少)の上昇では、銀行の自己資本に深刻な影響を及ぼすことはない日銀では分析している。

来日消費額、中国人旅行者が首位に

観光庁の調査によると、2012年に日本を訪れた外国人旅行者全体の消費額は推計で1兆861億円に達し、震災前水準に回復していることが分かった。国・地域別で見ると、中国人旅行者の消費総額は推計2688億円で首位となった。ただ、1人当たりの消費額で見ると、オーストラリアの19万7千円が最高で、中国人が18万8千円で続いた。

65歳以上人口、初めて3千万人を突破

総務省が発表した2012年10月時点での推計人口は前年比28万4千人減の1億2751万人になった。2年連続での人口減少となる。また、65歳以上の老年人口は3079万3千人となり、初めて3000万人を突破し、総人口に占める割合も過去最高の24.1%となった。とくに、都市部での老年人口が急増しており、都市部でのシニアマーケティングが過熱する一方で、医療や介護サービスで不足感が強まりそうだと識者は指摘する。

昨年度エアコン出荷、過去最高に

日本電機工業会の発表によると、2012年度のルームエアコンの国内出荷台数は前年度比2.6%増の852万1千台に達し、調査開始の1972年以降で最高になったことが分かった。過去最高となった背景には、猛暑の影響で需要が拡大したことに加え、消費電力を抑制した製品への買い替え需要が増したことがある。また、家庭用電気機器の白物家電で出荷額の伸びが著しいのは前年度比13.9%増となった空気清浄機で、掃除機(同7.6%)が続いた。

高額品好調で百貨店売上高3カ月連続増

日本百貨店協会の発表によると、3月の全国百貨店の売上高は前年同月比3.9%増となったことが分かった。約7年ぶりに3カ月連続で前年を上回ったことになる。商品別で見ると、美術・宝飾・貴金属が同15.6%増となったほか、衣料品も6.8%増、化粧品を含めた雑貨も6.4%増となっている。同協会では「消費者に心理的なゆとりが出てきて、高額品も含めファッションに目が向いてきた」と指摘している。

アベノミクスで「所得増」は24%どまり

共同通信社が実施した全国世論調査によると、積極経済政策「アベノミクス」で所得が増えると思う人の割合は24.1%にとどまっていることがわかった。また、景気好転を「実感できない」人の割合は81.9%もあった。内閣支持率が72.1%と高止まりしているのとは裏腹に、所得増への期待感や景気好転への実感を抱くまでにはなっていない現状を醸し出している。